



ニュースリリース 平成 25年 11月 1日

6次産業化ファンド『常陽 大地と海の成長支援ファンド』の組成について



常陽銀行(頭取 寺門 一義)と株式会社常陽産業研究所(社長 鈴木 祥順)は、このたび、株式会社農林漁業成長産業化支援機構との共同出資により、農林漁業の成長と地域経済の活性化を目的として、6次産業化ファンド「常陽 大地と海の成長支援ファンド」を組成しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

常陽銀行グループは、今後とも、6次産業化による新事業創出・付加価値の創造に向けて、コンサルティング機能を発揮するとともに、積極的な資金供給に取り組んでまいります。

記

概要

1. ファンド名	常陽 大地と海の成長支援ファンド 投資事業有限責任組合
2. 組成日	11月1日(金)
3. 投資対象	6次産業化法の認定を受けた6次産業化事業体で、6次産業化事業体を構成する農林漁業者または商工業者の営業拠点(本店含む)が当行の営業地盤内にある先
4. ファンド総額	10億円(出資額内訳:常陽銀行499百万円、常陽産業研究所1百万円、農林漁業成長産業化支援機構500百万円)
5. 運営事業者	株式会社 常陽産業研究所
6. 出資者	株式会社 常陽銀行 株式会社 常陽産業研究所 株式会社 農林漁業成長産業化支援機構

※6次産業化…第1次産業である農林漁業者が、その生産だけにとどまらず、加工食品の製造・販売(第2次産業)や小売・観光農園など(第3次産業)に取り組むことで、新たな付加価値を創造するとの考え方。

【スキーム図】

